



## 業務内容

### 捜査・公判部門

検察官の指揮を受けて、事件の捜査や公判遂行のための事務を行います。自分の足で内偵捜査をしたり、捜索差押えに従事したりすることもあります。

### 検務部門

警察等からの事件の受理、証拠品や記録の管理、裁判結果の把握、刑の執行などを担当します。

### 事務局部門

総務・人事・会計など、働く環境を整え、職員を支える仕事をします。

検察事務官は、これら多様な業務に携わります。様々な部署で経験を積んで自らの適性を見極め、各部門で検察事務官としてのキャリアアップを図ることはもちろん、試験を受けて副検事や検事になることもできます。

## 研修制度

検察庁では、採用1年目に約1か月間実施される初等科研修をはじめ、研修制度が充実しており、研修を通じて無理なく業務に必要な知識を身につけることができます。

神戸地検では、新規採用者が業務をする上で感じた疑問点を扱う勉強会「あすなる倶楽部」を始めとして、立会事務官に必要なタイピング能力向上のための研修、捜査実務を学ぶ研修等を実施しており、若手職員の知識・能力向上をサポートしています。

## 若手職員の声

✦採用2年目の私は刑事部の立会事務官をしています。立会事務官は検察官とペアになって捜査を行い、事件の真相解明に努めながら事件の処分が適正にできるよう検察官をサポートしていきます。捜査や取調べと聞くと堅い印象がありましたが、実際働いてみると毎日たくさんの学びがあり、とても充実しています。(女性・令和5年4月採用)

✦神戸地検の魅力は、新規採用者職員対象の各種研修が充実していることだと思います。初等科研修では、法律の勉強だけでなく、社会人としてのマナー等も学びました。また、立会研修や、日直事務研修などもあり、分からないことばかりで不安が多い新規採用者職員を手厚くサポートしてくれる研修がたくさん待っています。(女性・令和5年4月採用)

✦神戸地検の魅力は、あたたかく丁寧な御指導をくださる上司や先輩の方が多いところです。業務の中で迷ったところや不明点も相談しやすく、聞きたかった以上のことを教わることもあります。また、担当部署の業務に専属する本庁から担当業務を複数掛け持つ小さい支部まで、担当部署に深く関わることも、広い分野に関われるのも魅力かと思います。(女性・令和5年4月採用)

✦入庁前の印象は「捜査機関」というイメージで全てにおいて厳しい印象を持っていました。しかし、実際に働いてみると、厳格なところは厳格に、その他は和気藹々とメリハリを持って仕事ができるという印象へと変わりました。(男性・令和5年4月採用)

✦就職活動中の皆さんへ 今、皆さんが就職活動をされている中で、神戸地検で働きたい方々、少しでも興味のある方々は是非、説明会や官庁訪問にお越しください！神戸地検の魅力が伝わると嬉しいです！皆さんと共に働ける日を心待ちにしております！(男性・令和5年4月採用)

### 柏原支部中庭



### 伊丹支部



神戸地検の管轄は兵庫県全域で、観光都市・神戸にある本庁を始めとして、管内には裁判員裁判のような大きな事件を扱う大規模支部から、アットホームな小規模支部まで、9つの支部があります。本庁や大規模支部で世間の注目を集める事件に携わったり、小規模支部で他の職員と協力しながら幅広い事務を経験したりできるのは、神戸地検の特色であり、魅力です！



### 神戸本庁



### 姫路支部別館



### 明石支部

